

白石の新鮮野菜 う～んとうまいから、食べてみてけらい～ん！

白石市農産物直売所連絡協議会では会員を募集しています。市内で直売活動をされている方などで興味のある方は、気軽にお問い合わせください。



7月の人気農産物

ナス、サヤインゲン、トマト、キュウリ、トウモロコシなど



小十郎の郷 ～農産物生産者募集中～

年末年始を除いて毎日9:00～18:00営業！

場所 福岡長袋字八斗蒔1
小十郎の郷 22-0881
http://www.kojuro-sato.com



青っ葉市直売所

月1回の「サービスデー」(定期市)を月初めの販売日に開催します。お買い上げ金額にかかわらず、お好きな新鮮野菜1点をサービスします。

- 1 ポーチパーク内 毎週水・土曜日9:00～12:00
2 本郷店(旧国道113号角田街道踏切そば) 毎週水曜日9:00～12:00
3 いきいきプラザ 毎週土曜日9:00～12:00
※スーパービック白石店でも新鮮野菜を販売しています。

馬牛沼産直センター

毎週火・木・土・日曜日9:00～18:00
場所 国道4号沿い馬牛沼付近
馬牛沼産直センター 25-0520



※各直売所では、白石産の新鮮な旬の野菜や花、漬物などを販売しています(直売所により品ぞろえは異なります)。
※白石市農産物直売所連絡協議会加盟店のみ掲載しています。「SSN」は「白石・新鮮・農産物」の略称です。

白石のブランド野菜作りに取り組んでいます！

小十郎の郷では、白石のブランド野菜作りに取り組んでいます！ブランド名は「白石三白野菜」で、現在白いトウモロコシ・白いカボチャ・里芋を育てています。

白いトウモロコシは「ピュアホワイト」で、実が白く甘みが強いのが特徴です。白いカボチャは「夢味」で、皮が白く、栗のような食感と甘みがある品種です。里芋は「土垂」で、昔から白石で作られていた品種です。さらに、枝豆もブランド化に取り組んでおり、「湯あがり娘」は芳香で食感のよい品種です。

皆さん、それぞれ収穫時にはぜひご賞味ください！



応募方法

1人俳句三句、短歌三首、川柳三句以内(未発表のものに限る)。はがきに作品・住所・氏名・応募する壇名をはっきり書き、〒989-0292 白石市大手町1-1 白石市総務課へ。はがき一枚に短歌、俳句、川柳の併記は不可。毎月15日締め切り。Eメールでも応募できます。(koho@city.shiroishi.miyagi.jp)

市民文芸

歌壇

岩崎 聰之介 選

子どもらの絵付けのこけし勢揃い何れ劣らず
ピカソぶりもよし 星
車窓より歌友を見つけ手を振りぬ神会わせま
す懐かしきひと 佐久間香鶴
音楽のおの字も知らぬに二十年キユーブの舞
台によくぞ歌い来し 大庭美智子
やさしさの満ちあふれたる面影を歌集に残し
逝きし人はも 門脇 貞造
ふる里に六月のかげ遙かなる日をし慰ふ此
処廢屋に 阿部はぎの
この蕾どうだんつじかきりしまか見れば老
木は苔に染まれり 佐藤喜和子
忘れじの山をまぢかに新緑を写す流れを見つ
つ昼餉す 高子うぶん
久びさに見る顔良い顔俺お前らい転けて昔
を偲ぶ 八巻 渡
木の肌と見まがふ色の初かはづこゑ試すがに
ケロと鳴きたり 寺崎 悦子
うぐいすの声と蔵王の残雪に今年も会えぬ無
人の駅で 鈴木 節子

俳壇

山家 弘子 選

「評」一首目、「何れ劣らず」が働いて上の句
と結句をうまく繋げている。
二首目、三句切れだが調子にまとまりがあ
る。歌人・空穂に「詞友」ということばがあ
り、同様に「歌友」もよく使われる造語。
三首目、多くを単純化、一息に感慨を詠ん
でいる。「来し」は、連体止め。
ランドセルなじみ始めて五月かな
熊鈴や不忘眼下は麦の秋 平塚 冬晴
瞬くま吾も驚も老いにけり 沼田 營火
待ったなしの桜吹雪の中に佇つ 高子うぶん
鯉のぼり擦りしたる百姓屋 藤多伊都子
亡き赤児に靴をはかせぬ寒き春 星 大庭美智子

柳壇

四電 英夫 選

「評」一句目、入學して問のない頃は先生にも
級友にも緊張し、小さいながらも神経を使っ
ている。一ヶ月もすると、お互いに気心も分
かり、また生活のリズムにも慣れてくる。大
きなランドセルも背中に馴染んできたと思
親心が描かれている。
二句目、山菜採りに山に行くときは必ず熊
よけの鈴を鳴らす。蔵やせんまいが袋いっば
いになったので、一服しながら眼下を見おろ
すと、麦畑が黄金の海のように何処までも広
がり光り輝いている。開拓村の美しい景。
三句目、あつという間に九十三歳になった。
色々なことがあつたが、すべて夢幻のように
思える。夏に入ると鶯は否応なく老鶯と呼ば
れる。老いを鶯と同じとみる、この大らかさ
が実に良い。
長生きをしようので金貯める 安藤 聡
町中からとうとう消えた鯉のぼり 鎌田 三無
年が増え共に増えます飲み薬 菅野ちさよ
高速道ライト列なす帰省客 村上 照夫
いつの間に野菜畑がアパートに 門脇 貞造
楽々が東北人を勇気づけ 大庭美智子
ミックスのサラダにしたい春の山 末吉アツ子
花びらも雲も流れる春の空 阿部はぎの
咲く花が生きる力をくれました 高子うぶん
大連休過疎も見まがう大渋滞 佐藤 啓子

平成28年度市民文芸年度賞が決定しました

受賞された皆さま、おめでとうございます。(敬称略)

【歌壇の部】

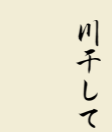


また来たよ返事なけれど頭つ母者月命日の線
香くゆる(三月号) 鎌田 ねい子
リンリンとひとり旅です町はずれ味噌付きにぎ
りの文字が呼んでる(九月号) 日下 由美子



正月の膳みごとなる色どりに元気をもらおう白酒
もつく(三月号) 佐藤 喜和子

【俳壇の部】



川干して沢端の春動きだす(六月号) 平塚 冬晴



いづれゆくところまばたく星月夜(十一月号) 藤多 伊都子

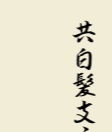
【柳壇の部】



初暦知らぬ月日の美しく(三月号) 大野 文雄



幸せは平凡な日々過ごすこと(十月号) 安藤 聡



共白髪支えて夫婦喜寿を待つ(十一月号) 星 明